

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	地場産品振興対策事業		担当部署	経済建設部 商工政策課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	伝統的工芸品産業の振興に関する法律及び同法律施行規則	
基本政策(大項目)	1	うきうき活力と魅力あふれるまちづくり	事業期間	開始	平成 ▼ 17年度
政策(中項目)	1	豊かで活力あふれるまち なんと			終期
(小項目)		産業			
施策	1	産業の振興と経営基盤の充実強化			
基本事業	1	地場産業の育成・振興			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 国の伝統的工芸品に指定された大谷焼。 その他本市が誇る製塩業・製菓業・足袋製造業・アパレル業・粘土瓦製造業・酒醸造業、加工品製造業(わかめ加工)等の地場産品。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	大谷焼をはじめとする本市の地場産品の販路を拡大し、各事業所の知名度や売り上げの向上、それに伴う雇用の創出を図るとともに、なんとブランドの保護に努める。														
事業計画	29年度に何を計画していたか	・県人会、物産展等のイベントに出展または開催をし、地場産品のPRを行う。 ・大谷焼き等の普及に関して販路開拓への支援のほか、市イベント等を通じてブランドの浸透を行う。 ・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査を実施する。 ・ふるさと名物応援宣言の実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>31年度</th> <th>32年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・地場産品PRイベントへの出展、支援回数</td> <td>6</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>4</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	6	4	4	4	4	件
指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位										
・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	6	4	4	4	4	件										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	・「大谷焼の里スプリングフェスタ」、「大谷焼窯まつり」市内PR事業の開催を支援。 ・農林水産課と連携をして、都市部での鳴門市フェア、市内で鳴門市農水産物フェア等を開催した。 ・鳴門市うずしお観光協会と連携をし、県人会、物産展等へのイベントに出展を行った。 ・鳴門わかめのブランドの保護のため、わかめの同位体検査を実施した。 ・ふるさと名物応援宣言の実施。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1						
	2						
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数	9	10	—	—	—	件
	目標達成率(実績/目標)		250.0	—	—	—	%
今年度の進捗状況	計画どおり	事業全体の進捗状況		計画どおり			

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	1,000	2,837	3,837
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	1,000	2,837	3,837
		決算額	0	0	0	1,000	2,217	3,217
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)		総人件費		総事業費
		0.4	0.0		2,894		6,111	

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	2,970	3,217	3,905	2,405	2,405
	うち一般財源	2,970	2,217	3,905	2,405	2,405
	人件費	2,853	2,894	2,894	2,894	2,894
	総事業費	5,823	6,111	6,799	5,299	5,299

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		首都圏などの大消費地、来場者数の多い地域でPR事業を実施できて有効であった。
	効率性	B:概ね効率的だった		大谷焼陶業協会、市の関係部署と連携することにより、概ね効率よく事業を実施できた。
②成果に対する評価	指標名	・地場産品PRイベントへの出展、支援回数		当初の目標数値は達成することができ、内容についても概ね満足のいく成果は得られた。
	目標	4	件	
	実績	10	件	
	評価	A:目標を達成できた		
③総合的な評価		B		地場産品の振興について、一定の成果につながったものと考えられるが、補助事業の実績精査や、事業実施効果の検証を絶えず行う必要がある。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市が直接物産展に出展し、代わりに地場産品のPRを行うことは、長年続けてきた事業ではあるが、一定の役目は終えているように考えられる。そこで、直接中小企業者が展示会等に出展し、バイヤー等へPRできるように販路開拓支援制度を実施しているが、それらを主軸として事業を行っていく。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業者等との連携による地場産品PR事業の実施。 ・販路開拓における補助制度の実施。 ・「大谷焼きの里」の案内標識設置。 			
	H31年度	前年度の実施内容を検証し、決定する。			